



# 地域医療連携News

平素より中国労災病院が大変お世話になり、誠にありがとうございます。

地域医療連携News第196号を発行致しました。今後とも連携の程よろしくお願い申し上げます。

## 中国労災病院理念

働く人と地域の人のために患者中心の良質な医療を提供します。

### 中国労災病院の基本方針

- 個人の尊厳と権利を尊重し、高度で安全な医療を推進します。
- 地域の医療機関と連携し、救急・急性期から慢性期までの一貫した医療を実践します。
- 最新の医学に基づいた専門的な医療を実践します。
- 働く人の健康を守り、治療と仕事の両立を支援します。
- 周産期医療を充実させ、未来を担う子供たちを支援します。
- 優れた人材を育て、働きがいのある職場づくりを推進します。

### 初期臨床研修の理念

医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学・医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、日常診療で頻繁に関わる病態に適切に対応できる基本的な診療能力を身につけると共に、崇高な信念と人格をもち、生涯にわたり自己研鑽する態度を身につけた自立した医師を育成します。

### 初期臨床研修の方針

- ①医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）を修得します。
- ②医学・医療における倫理性を理解し、安全な医療の提供が行えるようにします。
- ③救急医療やプライマリ・ケアなどの診療能力を修得します。
- ④患者中心の思考・行動をする姿勢を修得します。
- ⑤他の医療スタッフ、患者や家族と協調し、良好な関係を築けるようにします。
- ⑥地域の中核病院としての役割を理解し、地域の病院と連携し、地域医療を学びます。
- ⑦症例を通じて、診断・治療の結果だけではなく、プロセスを学びます。
- ⑧他の医師や同僚とともに研鑽しながら、生涯にわたって学ぶ姿勢を修得します。

## 1. 循環器内科 5つのトピックス

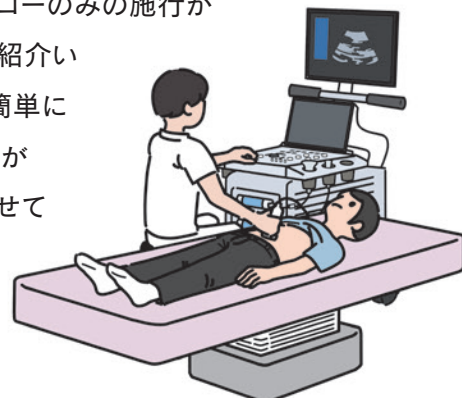
皆さまお疲れ様です。中国労災病院循環器内科の松田 圭司です。まだ残暑も残っていますが、変わりなくお過ごしでしょうか？

今回は「循環器内科5つのトピックス」を報告します。

- 1) 心エコーのみの開業医さまからの予約が可能になりました。
- 2) 下肢閉塞性動脈硬化症の外来紹介の窓口が循環器内科になりました。
- 3) 永久的ペースメーカー植え込みが、通常型もリードレスペースメーカーも循環器内科が窓口になりました。
- 4) 冠動脈石灰化治療に衝撃波を使用した治療が可能となり、より安全に治療ができるようになりました。
- 5) 心臓病教室を10月より再開しました。

### 心エコーのみの開業医さまからの予約が可能

開業医様からの要望もあり、「心エコーのみ」での予約が可能となりました。病診連携で「心エコーのみ」との予約をしていただければ、14時からご都合のよい時間に心エコーのみの施行が可能となりました。ご紹介いただければ、初見と簡単ですが、どういう対応が望ましいかを返事させていただきます。



## 下肢の閉塞性動脈硬化症の外来紹介の窓口が循環器内科

昨今、下肢の動脈の狭窄や閉塞で、歩行時の下肢の疼痛や潰瘍形成、場合によっては下腿切断の原因になります。皮膚潰瘍形成は皮膚科、下腿切断の場合は整形外科にお願いしておりますが、そういう状態になる前に血管の治療をすることで悪化を予防し、症状も改善することが可能となります。現在、循環器内科で外来紹介から治療もするようにしております。閉塞長の長い病変に関しても、血管内超音波等の併用でほとんど成功しております。ぜひ、閉塞性動脈硬化症の患者様がおられましたら、ご紹介の程よろしく願いいたします。

## 永久的ペースメーカー植え込み、通常型もリードレスペースメーカーも循環器内科で

『リードレスペースメーカー』は、以前から循環器内科で施行しておりました。体外からは植え込みが判らず、手技時間も短いため高齢の患者様にも治療ができ、多くの患者様で、問題なく治療できております。また、通常型のペースメーカーも心臓カテーテル室で、心臓血管外科の協力のもと循環器内科主治医で挿入するようになりました。循環器内科にて挿入するに伴い、右室のペーシングリードをスクリーインさせ、左脚の近くでペーシングすることでより生理的ペーシングになる、左脚エリアペーシングを行ってよりペースメーカー挿入後の予後を改善するよう工夫して頑張っております。

## 冠動脈石灰化治療に衝撃波を使用した治療が可能となった

冠動脈の石灰化病変は、治療手技の困難さや、拡張不十分等の原因となり、カテーテル治療の残った問題の一つです。今までは、『ロータブレード』というダイヤモンドチップが植え込まれたバーの高速回転

で石灰化部分を切削する治療を主に行ってまいりました。ただ、ロータブレードはやや合併症が多いことと、表層性の石灰化しか切削できないという欠点がありました。そこで、『ショックウェーブ (IVL)』というバルーンを導入しました。IVLは、尿管結石の破碎に使用されていた音圧波を血管内に発生させるバルーンであり、正常血管や柔らかい動脈硬化組織を傷つけることなく石灰化病変を粉碎します。これにより、石灰化を含んだ硬い病変であっても、安全に拡張することが可能になると報告されています。当院でも20例程度施行しましたが、いずれも安全に治療を終了できています。

## 心臓病教室を10月より再開

例年行っている『心臓病教室』ですが、令和7年度第一回目を10/24より再開します。15時半より8階多目的ホールで行う予定ですが、第一回目は、循環器内科と薬剤部からの講演を予定しています。患者様、患者様の家族、知人、医療スタッフどなたでも無料ですので、多数の参加を期待しております。もし、ご興味のある方がおられましたら、お声がけしていただければ幸いです。

循環器内科は、救急疾患を扱う科として「救急患者を断らない」をモットーに日々の診療に当たっていますが、これをこう変えてほしい、ここがダメだから直して等、ご要望があれば、いつでも受け付けておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



循環器内科集合写真



## 2. 中国労災病院開院70周年記念式典、並びに祝賀会・医療連携懇話会開催報告

令和7(2025)年3月7日に、当院は開院70周年を迎え、例年の医療連携懇話会と共に、記念式典と共同の祝賀会を、令和7(2025)年9月18日に、呉阪急ホテルにて開催致しました。式典には、公務ご多忙のところ、広島県健康福祉局医療介護担当部長 今井真由美様、呉市長 新原芳明様、広島県医師会 会長 松村 誠様、当機構本部から大西洋英理事長を始め、多くの行政、医師会、関連団体、医療連携施設の皆様に参加して下さいました。中国労災病院を代表して私が式辞を述べさせて頂きました。70年間の時代の流れ、社会の要請、医療の発展等により、当院はダイナミックにその組織母体を変え、その時代時代に合った病院機能を拡充し、現在に至った経緯を説明させて頂きました。何よりも、この70年間に有形無形のご支援や、ご指導を多くの皆さまに頂き、現在に至っている事への感謝を述べさせて頂きました。ご来賓の皆様からは、身に余るお言葉やご期待を頂戴し、非常にうれしく、また身の引き締まる思いも致しました。記念式典には、総計113名のご参加を頂きました。



記念式典



祝賀会

続いて、当院に優秀な医師を推薦・派遣して下さっている広島大学医系科学研究科並びに病院の来賓の方々のご臨席を賜り、記念祝賀



中国労災病院 院長  
栗栖 薫

会・医療連携懇話会の開始となりました。私から、先ほどご挨拶を頂いた来賓の皆様を紹介し、御礼を申し上げます。広島大学からのご来賓を代表して、広島大学病院長の安達伸生 教授、呉市医師会 会長の石井哲朗 先生からお挨拶を頂きました。これまた大変光栄なお話を頂きまして、感謝申し上げます。その後、副院長の藤原久也 先生の乾杯の発声により開宴となりました。20テーブル約140名の参加を頂きました。すぐに座が和んで、多くの連携施設の先生方やご来賓の方々が席を離れてのご歓談と交流になりました。



呉市長  
新原 芳明 様



広島大学病院長  
安達 伸生 様



広島県医師会 会長  
松村 誠 様



呉市医師会 会長  
石井 哲朗 様



機構本部理事長  
大西 洋英 様



医療介護担当部長  
今井 真由美 様

まさに、私が臨んでいた醸泡交歓会になりました。  
あっという間に1時間45分が経過して閉会となりました。  
途中で和んだ雰囲気そのものの打ち解けた写真を  
多く撮らせて頂きました。

今回改めまして、非常に多くの皆様に支えて頂いて  
いることを認識致しました。行政、医師会、関連団体、

地元の方々に、「日常生活圏を基盤とした医療圏に  
おける中核医療施設」であることを認識し、病院の理  
念である、「働く人と地域の人のために患者中心の良  
質な医療を継続的に提供」することの誓いを新たに  
致しました。

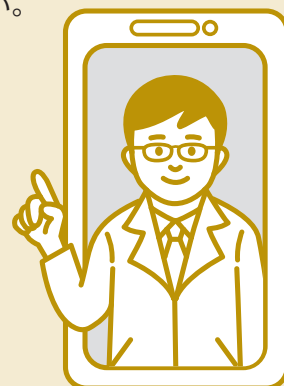
### 3. 「やくばと」病院予約の運用について

毎年当院で実施させていただいております『連携医療機関向けのアンケート』でのご要望を受けて、  
2025年5月から「やくばと」病院予約の運用を開始いたしました。その後5カ月が経過し、一部の医療機  
関様には、頻繁にご利用いただいている状況です。当院といたしましても、FAXと併用の申込ツールの一  
つとして認識しておりますので、下記のいずれにもあてはまる患者さんであれば、WEB予約のご利用もご検  
討いただければと存じます。

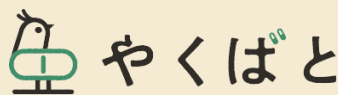
- ①3営業日以降の診療予約で良い。
- ②紹介患者の予約日時決定まで患者さんが待合で待つ時間を短縮したい。
- ③患者さん自身又はご家族がスマホ等の操作がある程度出来そう。

また、先生方にとっても下記のようなメリットもあるかと存じます。

- ①申込用紙の手書きの手間の短縮
- ②患者さんのクリニックでの待ち時間短縮
- ③当院への紹介患者のWEBサイト一括管理



『やくばと』の利用方法について、ご不明な点がございましたら、患者サポートセンターまでご遠慮なく  
お問い合わせください。



やくばとチュートリアル動画QRコード案内

## 地域医療連携ニュース第196号

〒737-0193 広島県呉市広多賀谷1-5-1 Tel.0823-74-0321 Fax.0823-74-6260  
中国労災病院 患者サポートセンター <https://www.chugokuh.johas.go.jp/regionalPartner/>



発行日：令和7年10月●日